〔編輯雑記〕

牧野信一

青空文庫

△銀座通りで夜更迄話した、「雑誌をやらう」と、それでも足りないで家へ帰つて夜明しなどした。五年も前の話である、鈴木と二人で、春の夜だつた。感傷的な事を云ふやうだが、今度「金と銀」が四月に出る、沈丁花の香りを窓にしながら私はこれを書く、つまらない因念だが、それも自分の悦びの一つだ。

△あの頃なら自分は全部を投げて、雑誌の仕事に従事する事が出来た、今は、この他になさなければならない沢山な仕事を持つてゐる、この愉快な仕事に全部を挙げる事の出来ない身を嘆く、浜野や鈴木を寧ろ羨む。然し自分はそれだけに「金と銀」を思つてゐるのだ。自分は「永遠の自由の国」を発見したやうに喜むでゐる。社友の方にも屹度自分と仝じやうな考へを持つて下さると信ずる。新しく集つたものと云へ私達は皆な仝じ人なのだ。心と心の国が開けたのだ。縦令その国の装飾が貧弱であつても、私達は自分の世界を発見したのだから、その喜びは極みない、日を追ふて草木も植えやう、池も作らう、花園に花も咲かせやう、皆で一処になつて——さうして自分達で作つた自分達の楽園で永遠の悦びに浸らう、そこでは、いくら歌つても誰一人とがめない、互に真の理解を持ち合つてゆかう。

青空文庫情報

底本：「牧野信一全集第一巻」筑摩書房
　2002（平成14）年8月20日初版第1刷
底本の親本：「金と銀　第一号」金と銀社
　1920（大正9）年4月5日
初出：「金と銀　第一号」金と銀社
　1920（大正9）年4月5日
※題名の〔〕は、底本編集時に与えられたものです。
※「編輯雑記」と題した雑誌のコーナーへの、無題の原稿です。
入力：宮元淳一
校正：門田裕志
2011年5月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

〔編輯雜記〕

牧野信一

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/